



— 連携型中高一貫教育校 —

# 小瀬高校 学校だより

小瀬高 SPIRITS & PRIDE

平成30年度 第2号  
茨城県立小瀬高等学校  
平成30年 4月10日

## 【平成30年度入学式】

7日に、来賓の方々をお迎えして、入学式が行われました。保護者や在校生に見守られながら新入生60名（男子34名、女子26名）が入場する姿はとても初々しく感じられました。また、担任から呼名されると、張りのある元気な声で返事し、学校長より入学許可を受けました。



学校長式辞では、「君たちの入学について、保護者や在校生だけでなく、来賓をはじめとする多くの方が祝福しています。また、本校を卒業したたくさんの先輩方が喜び期待しています。ステージに飾られている花も、小瀬高校を愛してくださっている先輩の一人が、地域の枝物を提供してくれたものです。」と紹介され、「本校は地域のシンボルであり、地域の方々から愛され支持されている学校です。校長室には、『去華就実』の文字が掲げられています。去華就実とは、外見の華やかさを取り去り、実際に役立つ人間になるという意味で、本校の教育の根底に流れている精神です。」と話されました。さらに、「本校は、県内で6番目に古い伝統を誇る学校です。今年は創立120年目を迎え、君たちが2年生になる年には120周年の記念行事が控えています。また、同じ年にはいきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会が開催され、3年生の時には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、歴史的な出来事の中で本校に在籍するの

です。」と話され、「君たちの力を求められることにもなります。だからこそ、本校の生徒として充実した学校生活を送ってほしい。」と呼びかけました。その後、「学習活動に力を入れて欲しい。小瀬型学力(=将来にわたって主体的に生きていく学力)や小瀬高スピリッツ(=将来有用な地域の人材となる資質・能力)を体得して欲しい。」と話され、「そのために、学習を大切にする『学びの場』を提供していきます。」と話され、社会に貢献する人材になってほしいという願いを話されました。





その後、来賓の茨城県議会議員鈴木定幸様からは、「様々な情報が飛び交う情報化社会の中で、情報を精選する能力を身に付け、社会を背負う人に育てて欲しい。」とのお祝いと期待の言葉をいただきました。また、本校PTA会長の加藤智久様からは、「本校は長い歴史と伝統を持つ学校です。これからは、高校生として多くの選択の場面があることでしょう。本校での様々な体験をとおして人として成長するだけでなく、自らの意志で決め、そのことに責任が持てる人に成長して欲しい。」との話がありました。同窓会会長の藤田佳史様は、本校の歴史と伝統に触れた後、「学ぶことの大切さを感じ、夢と希望を胸に志を立て『知恵・知識・心』を鍛えて欲しい。小瀬高等学校への入学をころから喜んでいきます。」との言葉をいただきました。

また、在校生を代表して、生徒会長の鈴木蓮さんが、「小瀬高校は、一人一人が輝くことのできる学校です。多くの体験型の学習があり、また、親身になって生徒のことを考えてくれる先生方もいます。何か困ったことがあったら遠



慮なく聞いてください。」と歓迎の言葉を語りかけました。

最後に、新入生を代表して佐藤智也さんが、しっかりとした口調で誓いの言葉を述べました。

本校教職員一同、新入生が一日でも早く高校生活に慣れ、夢と希望を持って楽しく高校生活が送れるように全力で応援・支援して参ります。どうか、保護者の皆様にも本校の教育方針にご理解をいただき、ご協力・ご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

入学式の終了後、式場に飾られていた枝物を職員玄関前などに活け変えてくれました。

はじめ、生徒たちは要領が分からず戸惑っていましたが、あれこれと相談しながら生徒たちの感性が生きた味のある活け花となりました。

今後も、生徒たちにこのような機会を与えていきたいと考えています。



本校では，一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業を行っており，多くの体験型の授業が用意されています。また，

